

〔問1〕

次の（1）から（10）の問いに答えなさい。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問2〕

著作権保護のため、非公表（択一式 1問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問3〕

著作権保護のため、非公表（択一式 1問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問4〕

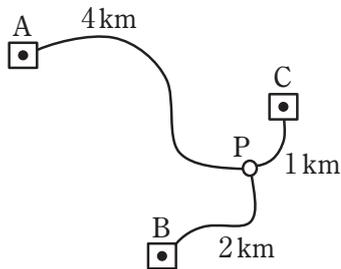
著作権保護のため、非公表（択一式 1問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問5〕 次の（ア）から（コ）の中から5つ選択し、それぞれについて簡潔に説明しなさい。

- （ア）浸潤線
- （イ）液性限界
- （ウ）A E 剤
- （エ）プライムコート
- （オ）水準測量
- （カ）土地改良区
- （キ）G A P（Good Agricultural Practices）
- （ク）地域計画
- （ケ）農業の有する多面的機能
- （コ）カーボンニュートラル

以下の問題は例題です。（大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題1 図のように、三つの水準点A～Cから点Pの標高を求めるため直接水準測量を行い、表のような結果を得た。点Pの標高の最確値はいくらか。



水準点	点Pの測定値 [m]	点Pとの距離 [km]
A	12.416	4
B	12.412	2
C	12.425	1

1. 12.418m
2. 12.419m
3. 12.420m
4. 12.421m
5. 12.422m

【正答：3】

以下の問題は例題です。（大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題2 農道の路床に関する次の記述のA～Eに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

路床は、舗装（路盤を含む）の最下面から下の部分で、盛土区間では□A□から下の、切土区間では掘削した面から下の、深さ約1mの土の部分指し、舗装と一体となって交通荷重を支持し、路体に対して交通荷重をほぼ一定に分散する役割をもつ。なお、軟弱な路床を改良するため路床の一部又は全てを良質な材料で□B□層や、石灰・セメントなどで□C□層、あるいは、寒冷地における凍上抑制層などは路床に含まれる。

路床土の良否は、その上部に設ける舗装の厚さに大きな影響を与える。このため、その土質の判定に当たっては十分な検討が必要であり、一般に物理的性質（□D□、粒度、比重、コンシステンシーなど）及び力学的性質（□E□、地盤係数など）を明らかにするための土質試験を行う。その結果や施工事例などの資料を参考にして、路床土としての適否や路床改良方法を決定する。

A	B	C	D	E
1. 基礎地盤面	置き換えた	安定処理した	CBR	含水量
2. 基礎地盤面	安定処理した	置き換えた	含水量	CBR
3. 盛土仕上り面	置き換えた	安定処理した	CBR	含水量
4. 盛土仕上り面	置き換えた	安定処理した	含水量	CBR
5. 盛土仕上り面	安定処理した	置き換えた	含水量	CBR

【正答：4】